



地域密着型金融の推進状況について

～ 平成 21 年度における取組重点事項等について ～

杜 の 都 信 用 金 庫

平成 21 年度における地域密着型金融の推進状況につきまして、以下のとおりお知らせいたします。

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

1) 創業、新事業支援の強化

- プロパー商品や宮城県信用保証協会の制度融資等を利用し、創業、新事業への進出を図る企業等に対して、積極的な支援を実施しました。

〔創業・新事業支援融資実績〕

	平成 21 年度における取扱実績	
	件数	金額
創 業 ・ 新 事 業 支 援 融 資	23 件	98 百万円

2) 事業再生、経営改善支援の推進

○ 中小企業再生支援協議会の活用

再生計画策定支援企業（第二次対応企業）に選定された企業に対し、取引先のメイン金融機関と協調し、中小企業再生支援協議会の支援・指導のもとで経営改善計画を策定し、事業再生を支援いたしました。

○ 既往取引支援先のランクアップ

【目標数値 支援取組先数 100 先 ランクアップ先数 10 先以上】

経営改善支援の取組みを要する先として 100 先を選定し、お取引先企業の実態把握や改善支援に努め、平成 21 年度は 2 先について債務者区分がランクアップいたしました。



〔経営改善支援等の取組実績（平成21年4月～平成22年3月）〕 （単位：先数）

		期初 債務者数	うち				経営改善 支援取組 率	ランクア ップ率	再生計画 策定率
			経営改善 支援取組 先数	aのうち期 末に債務者 区分がラン クアップし た先数	aのうち期 末に債務者 区分が変化 しなかった 先数	aのうち再 生計画を策 定した先数			
		A	a	b	c	d	a/A	b/a	d/a
正常先 ①		3,945	0		0	0	0.0%		—
要 注 意 先	うちその他 要注意先 ②	480	86	1	76	37	17.9%	1.2%	43.0%
	うち 要管理先 ③	19	4	1	2	3	21.1%	25.0%	75.0%
破綻懸念先 ④		77	10	0	8	6	13.0%	0.0%	60.0%
実質破綻先 ⑤		189	0	0	0	0	0.0%	—	—
破綻先 ⑥		62	0	0	0	0	0.0%	—	—
	小 計 (②～⑥の計)	827	100	2	86	46	12.1%	2.0%	46.0%
合 計		4,772	100	2	86	46	2.1%	2.0%	46.0%

- ・債務者数、経営改善支援取組先は、取引先企業（個人事業主を含む）であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含みません。
- ・経営改善支援取組先で期中に完済した債務者はaに含めるもののbには含みません。
- ・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はbに含めます。
- ・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めません。
- ・「再生計画を策定した先数d」はすべて当金庫独自の再生計画策定先となります。

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ、中小企業に適した資金供給手法の徹底

1) 目利き機能の向上

○ 業界団体が主催する研修等への職員派遣

中小企業に適した資金供給手法を徹底するためには、多様な融資手法の活用のみならず、企業の事業価値を見極める職員の「目利き力」の向上が重要であると認識することから、業界団体が主催する「目利き力養成研修」に職員を派遣（平成21年度8名を派遣）するなど、定性情報の適正評価に対するスキルアップを図りました。

2) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の推進

○ ビジネスローン福来、事業活性化ローン、TKCローンの継続推進

中小零細企業に対する資金仲介機能の向上を図り、地域の資金ニーズに的確に対応するため、担保や個人保証に過度に依存することなく、企業価値を見極める融資手法を活用した「ビジネスローン福来」、「事業活性化ローン」および信用保証協会制度を活用した推進を図ってまいりました。

〔個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資への取り組み〕

	平成 21 年度における取扱実績	
	件数	金額
財務制限条項を活用した商品による融資	11 件	128 百万円

○ 信用保証協会制度融資の推進

信用保証協会が主催する説明会に対して、全ての営業店から担当者を派遣し、新制度等の利用推進に向けた準備対応を図ったほか、平成 22 年 3 月末にかけて休日相談窓口を全営業店に開設することにより、お取引先に対する円滑な資金供給に努めた結果、平成 22 年 3 月末の信用保証協会保証付貸出残高は、対前期比で 1,354 百万円増加の 27,270 百万円となりました。

3) 中小企業に適した資金供給手法の徹底

○ シンジケートローン、PFI の推進

大規模なプロジェクトにかかる大型融資案件に対しては、シンジケートローンの活用を推進いたしました。

また、民間資金を活用した PFI 事業につきましては、給食センターの整備事業に対して実施し、地域の総合整備事業を支援しました。

〔シンジケートローン、PFI 取扱実績〕

	平成 21 年度における取扱実績	
	件数	金額
シンジケートローン	1 件	50 百万円
P F I	1 件	300 百万円

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

1) 金融基礎知識の普及を通じた、次世代の健全な金融消費者の育成

○ インターンシップ実習生の受け入れ

職業意識の形成・自立心の育成を図ることを目的とする産学連携教育の一躍を担うため、地元の大学からインターンシップ実習生（5名）を積極的に受け入れいたしました。

2) 地域企業の課題解決に向けた金融サポート体制の拡充

○ 仙台電波工業高等専門学校との産学連携の強化

当金庫と連携協力協定を締結している仙台電波工業高等専門学校が宮城工業高等専門学校と再編され、「仙台高等専門学校」として設置されるにあたり、新たに創設された「仙台高等専門学校創設教育研究支援基金」に対して寄附を行い、教育研究基盤の強化、教育内容の拡充を支援しました。

3) ビジネスマッチングへの参画

○ 「ビジネスマッチ東北 2009」への参画

東北地区の信用金庫が持つネットワークを利用して、お取引先の販路拡大や自社商品・サービスにおける優位性の向上、及び経営課題の解決に向けた一層の支援を図るため、東北地区信用金庫協会が主催した「ビジネスマッチ東北 2009」へ参画いたしました。

当金庫からは推薦企業として 25 社が参加し、販路の拡大や経営課題の解決などに結びついております。

以 上